聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 広報誌

Vol.03
June 2021

西部病院だより

いこいの森

特集

消化器・一般外科

患者さまの笑顔のために最善を尽くします

消化器・一般外科スタッフ

当院の消化器・一般外科では、「患者さまの目線にたった安全で確かな医療技術の提供」を基本理念としており、各種ガイドラインに沿って最新で最良な治療を行っています。特に、胃がんや大腸がんといった消化器の悪性疾患、および胆石・胆嚢炎や鼠径ヘルニアなどの良性疾患に対しては、痛みが少なく身体への負担が少ない腹腔鏡下手術を積極的に行っています。手術実績が豊富な医師が、根治性にも留意した低侵襲な手術を提供することで、早期に社会復帰が可能な外科治療を提供しています。

2021年、聖マリアンナ医科大学は創立50周年を迎えます。

FEATURE 消化器・一般外科のご紹介

大腸がんの治療はお任せください

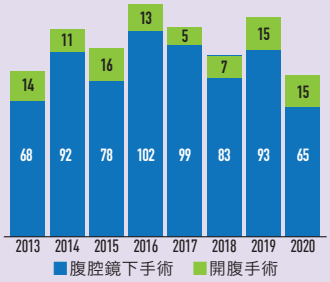
消化器・一般外科
部長　内藤 正規

腹腔鏡下手術は、創が小さいことにより痛みの少ない低侵襲な手術として多くの施設で行われています。当院では、日本内視鏡外科学会の技術認定医が、すべての腹腔鏡下手術に携わることで高度な手術を安全に行える体制が整っています。特に、大腸がんに対する外科治療は、非常に高い治療成績を誇っています。毎年80%以上の症例に腹腔鏡下手術を行っているなかで、合併症は約8%程度と低い値となっています。そのなかで、最も重篤な合併症のひとつであり、人工肛門造設の原因となる縫合不全の割合が約2%と非常に低い値となっています。また、当院では直腸がんに対して根治性を損なうことのない肛門温存を治療選択の基本としており、可能な限り永久的な人工肛門を回避しています。

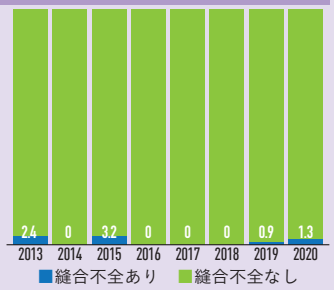
腹腔鏡下手術の風景

腹腔鏡下大腸切除後の創

大腸癌手術の治療実績

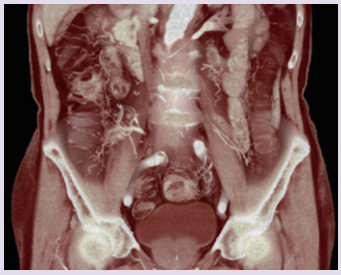


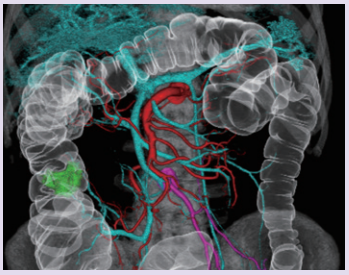
大腸癌手術における
腹腔鏡下手術の割合



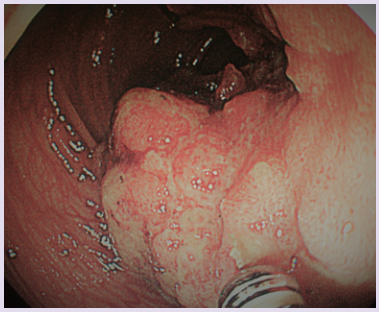
大腸癌手術における
縫合不全の割合

3D-CTによる術前のナビゲーション画像

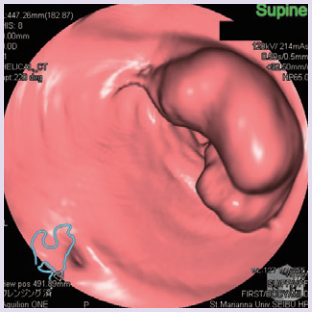




CTコロノグラフィー



実際の大腸内視鏡検査



CTコロノグラフィーによる
バーチャル画像

大腸がんの検査では、大腸内視鏡検査だけでなくCT撮影装置を利用したCTコロノグラフィー検査を導入しています。CTコロノグラフィーはCT検査における画像処理によって、実際に内視鏡観察をしているような3D画像が得られる検査で、負担が少なく短時間で検査が終了します。さらに、造影剤を使用することで体内の血管走行も3D画像でより正確にみることができます。これらの検査の組み合わせにより術前に十分な情報を得ることで、安全な手術を行うことに徹しています。

根治切除が不能ながんや再発がんに対する治療もお任せください

当院では、大腸がんに対する抗がん剤治療も行っています。近隣施設との連携により放射線治療も行っており、最良な集学的治療を提供できる体制となっています。

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
St. Marianna University Yokohama Seibu Hospital

地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院
JCEP（卒後臨床研修評価機構）認定病院

〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町1197-1
電 話　045-366-1111（代表）
FAX　045-366-1172
URL　https://seibu.marianna-u.ac.jp/